

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

市町村名	課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数	単 位	目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
06365大蔵村	③学校と家庭の課題	03 読書習慣の定着・読書体験の充実	図書の貸出冊数が、学年が上るにつれて少なくなっており、特に中学生の貸出冊数が少ないのが課題である。	学校図書室に協働活動支援員を配置し、環境整備や貸出業務を行っている。	引き続き、学校図書室に協働活動支援員を配置し、一人でも多くの児童生徒が図書室に足を運びたいよう環境整備を実施する。	学校図書室の利用者が増えるとともに、貸出冊数が増える。	一年間の個人の平均貸出冊数の比較による。	140	冊	150	96	02 本年度の目標値を下回り、取 小学校については、平均貸出冊数の増加がみられ、効果が表れている。中学校については、図書の利用を促すため、教室や廊下に図書を置いたり工夫はしているが、冊数が伸び悩んでいる。図書担当教員や図書員との連携強化が必要である。	https://www.vill.ohkura.yamagata.jp/soshikikarasagasu/kyoikuiinkai/gymuannai/3/chiiikigakkou/1928.html

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。